

ニュースクリップ & 映像教材

■第66回教育映像祭「夏休み子ども映画フェア」

(一財)日本視聴覚教育協会、東京都小学校視聴覚教育研究会では、令和元年8月19日(月)9:50~11:50、なかのゼロホール・小ホール(東京都中野区中野2-9-7)において、標記映画フェアを教育映像祭の一環として開催する。親子で楽しめる映画5作品を上映予定。問い合わせは、東京都台東区立金竜小学校 古谷校長 TEL 03-3781-9893まで。



写真・昨年の様子

協会情報

■令和元年度教育映像祭「優秀映像教材選奨」に83作品が参加

(一財)日本視聴覚教育協会では、毎年、教育に利用される映像教材の製作振興と利用の向上進展を図る目的で、標記選奨を開催している。

今年度の参加作品数は次の通り。教育映像はすべてDVD。

1. 小学校(幼稚園含)部門 【教育映像】9
【教育デジタルコンテンツ】1
2. 中学校部門 【教育映像】17
【教育デジタルコンテンツ】1
3. 高等学校部門 【教育映像】6
4. 社会教育部門 【教育映像】〔家庭生活向〕6
〔市民生活向〕9
5. 職能教育部門 【教育映像】32
6. 教養部門 【教育映像】2

なお、本コンクールの表彰式は、令和元年9月13日(金)、東海大学校友会館(東京都千代田区霞ヶ関3-2-5)において行われる。

AV情報

■教員のための博物館の日

先生が子どもに戻って博物館を楽しむ日として、学校の先生に博物館に親しみを持ってもらうこと、博物館の学習資源を知ってもらうことを目的に、国立科学博物館他では、標記イベントを開催する。

<日程>令和元年7月26日(金)

<会場>国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

<対象>幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校等の教員等。教育関係者、博物館関係者、教員志望の学生も含む。

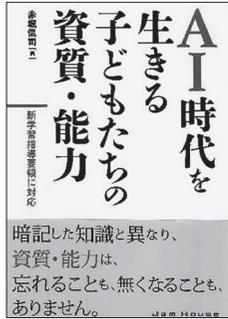
<内容>常設展示無料見学、学校団体向けプログラムや博物館活用事例紹介など。全国32地域の博物館において開催予定。

詳細は、下記を参照のこと。<http://www.kahaku.go.jp/learning/leader/mday/>

<問い合わせ先>国立科学博物館事業推進部学習課 TEL 03-5814-9189

■ ブックレビュー

『AI時代に生きる子どもたちの資質・能力 新学習指導要領に対応』



赤堀侃司著
Jam House 発行
2019年3月31日刊
A5判、236頁
1,600円(税別)

今、「AIと教育」は、教育関係者がもっとも関心のあるテーマである。それはAIが単なるデバイスでなく、学習する機械であり、教育に未知なる大きなインパクトを与え、今までの教育を大きく変革させることが予測されているからである。本書は、2017年に告知された新学習指導要領に基づき、子どもの資質・能力をどう育成すべきかに焦点をあて、著者の専門である教育工学の見地から考察を行っている。小学校・中学校・高校及び大学等の教育に関わるすべての教員、研究者、学生に推薦したい本である。

本書では、AI時代を生きる子どもたちには、暗記した知識とは異なる資質・能力が期待されていることを指摘し、これをどう育成

すべきか、新学習指導要領の理念に沿い、日本国内及び世界の教育実践、教育工学の理論、研究文献などを紹介し、考察をしている。本書の構成は明快で、まず、第1章で、現在の学校教育の知識が社会に繋がらないという問題を提起し、2章から9章で、AI時代における探求の仕方を学ぶ、道具の使い方を身に付ける、AIと付き合う、プログラミング的思考を身に付ける、学習形態を変える、知識を構造化する、教科等の見方・考え方を身に付ける、学びに向かう力を身に付けることにより資質・能力を育成することを提案している。第10章では、学校と社会をどう繋げるか、を述べ総括している。

本書には、著者の教育経験と教育工学研究の類稀な幅と深さによる洞察力と、人間性—驚きや感嘆、優しさが溢れており、読者は知的に、且つ感情的に「AI時代の子どもの資質・能力育成の世界」に引き込まれるだろう。さらに、著者が教育現場で長年、撮り貯めた貴重な写真も掲載しているので、世界の教育現場をイメージしやすい。まずは授業設計にも役立つ本書を手に取り、AI時代の教育の大海原に踏み出してみよう。時代はすでに動き出している。

(青山学院大学非常勤講師 安西弥生)

■2019年の夏休み「こども映画館」

国立映画アーカイブは、中学生以下を対象に、映画鑑賞を通し映像リテラシーを育むことなどを目的に標記イベントを開催する。

<日時>令和元年7月26日(金)・27日(土)、8月2日(金)・3日(土)、各日共13:30~15:00
<会場>国立映画アーカイブ(東京都中央区京橋3-7-6)

<内容>「活弁と生演奏で楽しむ日本のコメディア」(7/26)、「動物たちが大活躍!」(7/27)、「SF映画で体験する人類の挑戦」(8/2)、「活弁

と生演奏で楽しむアクションコメディ」(8/3)をテーマに、映画上映とお話など。国立映画アーカイブHP内の申し込みフォームより要事前申込。
<問い合わせ先>国立映画アーカイブこども映画館係 TEL 03-3561-0823

■夏休み特別企画2019 アナウンサー体験教室

(公財)放送番組センターでは、放送についての理解を深め、職業体験につなげる教室を開催する。
<日時>令和元年8月7日(水) 午前の部10:00~12:30、午後の部14:00~16:30
<会場>横浜情報文化センター(横浜市中区日本

大通11)

<対象>小学4～6年生

<内容>アナウンサーを講師に発声練習やスタジオでアナウンサー役に挑戦など。希望者は、往復はがき(令和元年7月25日(木)必着)で応募のこと。

<問い合わせ先>横浜情報文化センター放送ライブラリー TEL 045-222-2828

研究会情報

■情報教育セミナー2019

(公財)学習情報研究センターでは、「AI時代の教育の実現」をテーマに標記セミナーを開催する。

<日時>令和元年7月30日(火)9:30～16:45

<会場>一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2F)

<内容>基調講演、学習デジタル教材コンクール表彰式、パネルディスカッション等。

<問い合わせ先>(公財)学習情報研究センター TEL 03-6205-4531

各地の情報

■G20開催記念「未来の学びを実現する先進的教育ICT研究大会及び教員研修」

茨城県教育委員会主催により、標記研修が開催される。

<日時>令和元年7月31日(水)9:20～16:00

<会場>茨城県つくば市立みどりの学園義務教育学校(茨城県つくば市みどりの中央12-1)

<内容>基調講演 高谷浩樹氏(文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課長)、授業参観、企業展示見学、コース別教員研修等。

<問い合わせ先>つくば市立みどりの学園義務教育学校 TEL 029-846-2422

■第48回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会 三重大会

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会では、「三重で“つながる”」をテーマに標記大会を開催する。

<日時>令和元年8月1日(木)・2日(金)9:30～16:30、2日は、15:30まで。

<会場>三重県総合文化センター(三重県津市一身田上津部田1234)

<内容>基調提案、記念講演会、分科会、まとめ・講習会、企業展示等。

<問い合わせ先>大会事務局 三重県津市立修成小学校 TEL 0596-228-6321

■第4回関西教育ICT展

(一社)日本教育情報化振興会他主催により、ICTで教育力を高める!教育現場で使えるICT環境の提案として、標記展示会が開催される。

<日時>令和元年8月1日(木)・2日(金)10:00～17:00

<会場>インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1-5-102)

<内容>セミナー、プログラミング教育、デジタル教科書コーナー等の展示他。

<問い合わせ先>関西教育ICT展事務局(株)テレビ大阪エクスプロ TEL 06-6944-9918

■第12回全国高等学校情報教育研究会全国大会(和歌山大会)

全国高等学校情報教育研究会では、「Next Stage一次代の担い手を育む情報教育」をテーマとした標記大会を開催する。

<日時>令和元年8月10日(土)13:00～18:00、11日(日)9:30～15:30

<会場>和歌山大学(和歌山県和歌山市栄谷930)

<内容>基調講演、ポスターセッション・企業展示、分科会、講評・講演等。

<問い合わせ先>全国高等学校情報教育研究会事務局 MAIL info-12wakayama@zenkojoken.jp

文部科学省選定作品

■5月選定 紙 紙しばい

「あしたも あそぼう」紙12枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「てあらい びっかぴか」紙8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

「ちっちゃい こえ」紙16枚<少年、教養>(株)童心社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm